

県 関 係 文 献 紹 介

- 奥谷禎一編，都市と昆虫。環境生物研究会刊，B5，58p. 1982年9月。

この論文集は1981年10月に神戸大学農学部で行なわれた日本昆虫学会第41回大会のシンポジウムの講演論文5編と大会々長のあいさつ，座長の感想をまとめられたものである。いずれも吾々の身近な問題に対するものが多いので大変参考になる。兵庫県関係の講演は青木 卓 氏の“市街地と郊外地の昆虫相の差異”（P.12-20）と題するものが調査地点の明記は無いが兵庫県下でのものであると思はれるし，神戸港のポートアイランドの調査が取り入れられている。一般に入手し難い文献を御恵与下さいました編者，奥谷博士に厚く御礼申しあげる。

- 淡路自然研究保護連合会・編。“島の生きものたち（淡路の生物誌）”。神戸新聞出版センター刊，1982年11月。B6，210p.

昭和55年1月より2年9ヶ月の間に延べ133回にわたって神戸新聞淡路版に連載された「島の生きものたち」に若干の補筆・修正を加えて1冊にまとめられたもので執筆者は登日邦明氏を代表とする淡路自然研究保護連合会のメンバー9氏による。動物，植物，昆虫に就いてその項目毎に主として生態写真がつけられているので大変楽しく読める。一般を対象としたものであるが大いに有益である。133項目に別けられていてその内昆虫は50項目（50種）で甲虫はその中で13種あった。昆虫の解説者は登日邦明，堀田 久，竹田俊道氏である。また登日氏による“島の昆虫類について”の概説もある。（一般書店で販売・定価980円）。

- 仲田元亮，“増補改訂 能勢の昆虫”甲虫の部，上・下巻，蝶の部。A5版，1982年12月刊。

多年にわたる能勢地域での昆虫の分布調査をまとめられたもので1970年に始めて自刊されて以来今回のもので3回目となるが実に立派な内容となっている。たゆまざる著者の努力に対して心から敬意を表したいと思う。

今回のものは甲虫の部上・下と蝶の部の3冊にわけられていて甲虫の方は上巻453p. 48科，613種，下巻508p. 45科，699種。蝶の部は304p. 8科，89種，文献からの記録5種が加わっている（甲虫の方では上巻613種の内の大阪の産地のみの種が68種，下巻で96種があるので上・下巻で兵庫県下からの記録種は1149種と云うことになる）。また1970年版では600種，1978年版で1035種，今回は1312種と次々と種も増加している。1978年から今回に致る間の追加種は適宜本誌“きべりはむし”にも発表されていた。一応今回のまとめで兵庫県から始めて記録されたものは16種ある（反面2種はシノニムで減ずべきものもある）。

何と云ってもこの様な長期間の調査の結果を独力でまとめると云うことは大変なことで、同定上の誤りとか学名の誤りも無きにしもあらずでさらに配列などの注意とか種毎には産地別の表示の方が年代別のものよりよいように思はれたり、これまで収録されるのであれば採集頭数を種によっては入れてはしかなかった等々の問題点は有るだろうが一つの業績として高く評価しなくてはならないと考える。(東京通販サービス社で取扱っている)

- Miyatake, M. 1982. A New Genus and Two New Species of the Tribe Hypulini from Japan (Coleoptera: Melandryidae). Trans. Shikoku Ent. Soc. Vol. 16, No. 1-2, PP. 29-35.

1978~1979年に須磨区内妙法寺地域での自然環境調査がホームサービス(梯)の手で実施され筆者も何回かその調査に同行させて頂いた。その関係から調査で採集された甲虫類の標本は同社の永井正身、荒木 裕両氏の御好意で全部筆者の手許に保管することになった。之等甲虫類の再同定の結果については簡単な報文も発表させて頂いた(兵庫生物, 8巻, 3号, PP. 153-155, 1982)。この甲虫類の中でどうもわからないナガクチキムシ7 exs.があった。早速愛媛大学の久松定成氏に同定を御願いするため標本を御送りした。そして同氏からこの類を専門にしておられる宮武睦夫氏に研究を委ねていた。

其の研究結果の論文がこれである。お蔭で後翅の退化した新属、新種として発表して頂けたわけで御両氏に厚く御礼申しあげたい。因にこのナガクチキムシの学名は *Nipponomarolia kobensis* Miyatake, 1982 となる。神戸市内にまだこの様に珍しい甲虫がいることがわかって喜んでいる。

- 佐用ライオンズクラブ(1982) "千種川の生態, 第10集" 39P.

この文献に就いては既に西村 登氏の紹介がある(ひょうご陸水生物, Vol. 3, No. 1, 1983)。筆者も一部送って頂いたが仲々立派な出来で楽しく且つ有益に拝見させて頂いた。

同 好 会 誌

ひょうご 陸水生物(兵庫県陸水生物同好会々報) Vol. 2, No. 4(1982年12月), Vol. 3, No. 1(1983年2月)。

てんとうむし No. 8(姫路昆虫同好会々誌)(1982年12月)

Parnassius, No. 27, Insect, No. 28(淡路昆虫研究会々誌並びに連絡誌)(1983年1月)

(T)